

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価書（後期）

平成26年2月3日（月）

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価委員会作成

第2回 学校関係者評価委員会

実施日：平成26年2月3日（月） 午後4時00分～

会 場：敷島中学校校長室

参加者：学校関係者評価委員

西山 豊（委員長）

佐藤 広美

持原 ひろ美

山田 淳子

長田 明美

（学校側）

新海 賢一（校長）

河野 良一（教頭）

I 学校側から提案された内容

- ・平成25年度12月実施の教職員による自己評価及び生徒、保護者アンケートの分析（昨年同期及び甲斐市内中学校全体結果との比較）結果の報告並びに改善策の提案
- ・学校全体の様子や生徒の現状についての報告

II 協議された主な内容

- ・教職員による自己評価及び生徒、保護者アンケートの結果。またそれらの分析結果から窺われる敷島中学校の教育活動全般について。
- ・学校や生徒の様子、地域における子ども達の様子について。
- ・来年度の学校ランドデザインに生かすべき今後の取組みについて。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

- ・教員の自己評価や生徒、保護者アンケートの結果を見ると肯定的な項目が多く、学校が一生懸命取り組んでいる姿がわかる。また、分析や改善策も自己評価書に書いてあるとおりである。教師集団をいかに高めていくかは重要なので引き続き頑張っていたきたい。
- ・数値的には高い項目や低い項目があるが、概ねこのようなものであろう。学校にも家庭にもそれぞれやるべきことがあるので、互いに理解しながらきちんと指導していきたい。

II 特 徴

- ・他の地域や学校には、学級崩壊や落ち着きのなさが問題となっているところもある。本校においては今のところそのような現象は見受けられないとのことである。本当にありがたい。教師・子ども・保護者の信頼関係が何よりであろう。これからも子どもの良いところを引き出しながら継続してほしい。
- ・信頼される学校、教師であるためにはその子の立場になって親身に考えてあげることが一番であろう。そのような様子が窺え、良くしてもらっている生徒も大勢いる。今後も温かい眼で見守っていただきたい。
- ・地域の行事に参加する生徒はまだまだ少ない現状にある。そのような中でも、子ども達は良くあいさつもしてくれるし自転車の乗り方のマナーなども良くなってきている感じがする。これからも続いていくようお願いしている。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・情報セキュリティについては、県内においてもいくつかの過失が見られている。本校においてはセキュリティポリシーを遵守するよう指導しているとのことである。とにかく教員一人一人が意識を高めるしかない。今後も重要性を認識して行動していただきたい。
- ・若い教師を育て、学校運営に対する教師の参画意識を高めることは大事である。そのためには、学年部会など小集団を生かした中で学び合い、教え合い、支え合うことが大切である。参画意識を高めるためにもう一步進んだ取組みをしてほしい。そのことは授業づくり、学級づくりにもつながるであろう。
- ・携帯電話（スマホ等）によるトラブルがいくつかあるとのことである。家庭における責任もあるが学校としても使い方の指導をお願いしたい。3学期は生徒のみならず保護者にも講演を聞く機会を設けていただいたが、今後も重要課題として取組みを続けてほしい。

※特記事項

市内で不審者情報がいくつかある。学校や生徒、保護者が知ることは当然大事だが、地域住民も未然防止に一役買っていただければありがたい。防犯対策の一環として、防災無線を通じて大まかな情報をリアルタイムに流すだけでも抑止になるであろう。そのような方策を関係する方々で協議し実現していただけるとありがたい。

記載責任者 甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価委員長

氏名 西山 豊 印